

通し番号	5140
------	------

分類番号	R04-72-21-08
------	--------------

「かながわ鶏」の肉中イミダゾールジペプチド含量は性別、部位、日齢により変動する	
[要約] 「かながわ鶏」の肉中イミダゾールジペプチド(IMDP)含量の変動要因を解明するため、性別、日齢別、部位別及び保存方法別にIMDP含量を測定した。性別では雌、日齢では124日齢以上、部位ではササミ肉、ムネ肉でIMDP含量が高かった。保存方法では冷蔵1日と冷凍7日で、ムネ肉のIMDP含量に有意差は認められなかった。	
畜産技術センター・企画指導部・企画研究課	連絡先 046-238-4056

[背景・ねらい]

「かながわ鶏」の肉の機能性を示し、新たな訴求ポイントを付加して消費拡大の一助とするため、性別、日齢、肉の部位、保存方法などの違いによる肉中のイミダゾールジペプチド(IMDP)含量の変動について解明する。

[成果の内容・特徴]

- 1 性別間のIMDP含量は、雌が有意に高かった(図1)。
- 2 部位間のIMDP含量は、ササミ肉、ムネ肉、モモ肉の順に有意に高かった(図2)。
- 3 日齢間のIMDP含量は、雄が124日齢で有意に高く、雌は124日齢、142日齢で有意に高かった(図3)。
- 4 冷蔵1日と冷凍7日でムネ肉を保存したところ、IMDP含量に有意差は認められなかった(図4)。

[成果の活用面・留意点]

- 1 性別、日齢別、部位別のIMDP含量の測定は、県内生産者が飼養した「かながわ鶏」から採取した鶏肉を用いた。
- 2 保存方法別のIMDP含量の測定は、1区画に雄4羽、雌4羽を飼養し、124日齢時に採取したムネ肉を用いた。

[具体的データ]

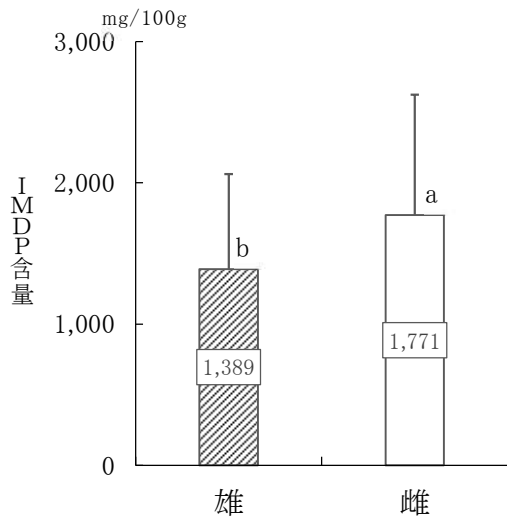


図1 性別がIMDP含量に及ぼす影響
異符号間に有意差あり(p<0.05)

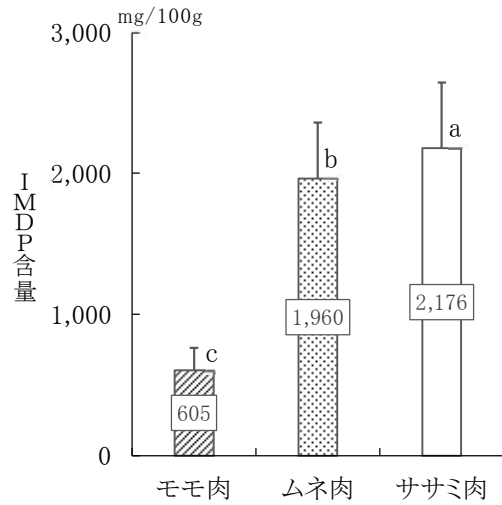


図2 部位がIMDP含量に及ぼす影響
異符号間に有意差あり(p<0.05)

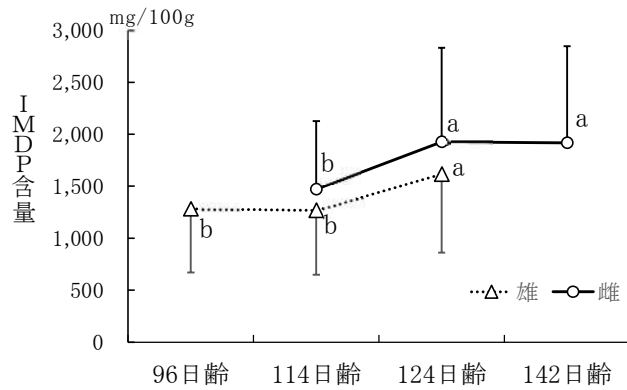


図3 日齢がIMDP含量に及ぼす影響
性別に異符号間で有意差あり(p<0.05)

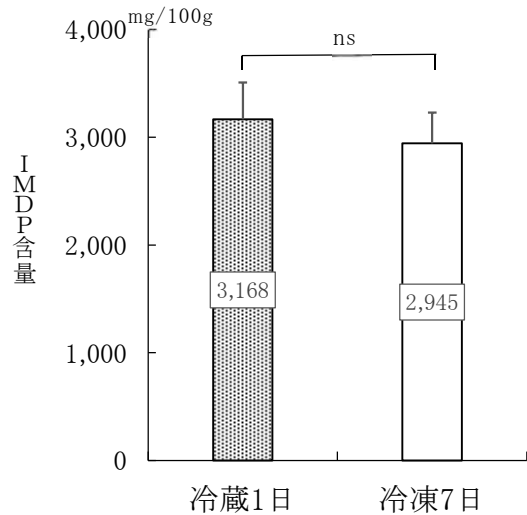


図4 冷蔵1日と冷凍7日で保存したムネ肉がIMDP含量に及ぼす影響
ns:有意差なし

[資料名] 令和4年度試験研究成績書

[研究課題名] 「かながわ鶏」の肉中イミダゾールジペプチド含量の解明

[研究内容名] 各要因における肉中イミダゾールジペプチド含量調査

[研究期間] 令和4年度

[研究者担当名] 引地宏二、江草愛（日猷大）